



落一地域センターだより No.85

こんにちわ 落合

令和4年 冬号



OCHIAI 編集・発行*落合第一地域センター管理運営委員会広報部 ☎161-0033 新宿区下落合4-6-7 ☎3954-1611

落一町連 国立競技場で

サッカー観戦

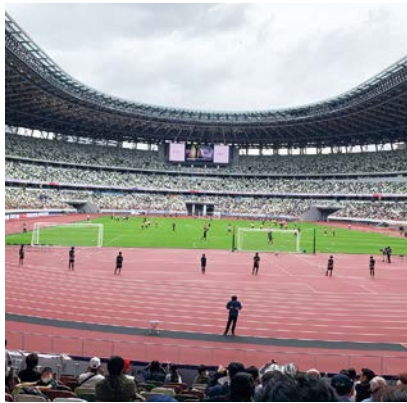
落合第一地区町会連合会では、10月9日(日)『新宿の日』と題して「見る」「食す」「遊ぶ」をテーマに国立競技場で新宿の魅力を体験、クリアソン新宿のサッカー観戦をしてきました。

クリアソン新宿はJリーグ、そして世界一を目指す新宿を拠点として活動するサッカークラブです。クリアソンとは、ポルトガル語で「創造」を意味し、サッカーを通じて世の中に感動を送り続ける、そんなクラブでありたいと願い、付けられたクラブ名だそうです。

『新宿の日』国立競技場の場外にはスクールゾーンと称し、14の専門学校等の特色を活かしたブースに子どもから大人までが長い列を作り、新宿マルシェゾーンには、特産品の販売から有名飲食店のフードコーナーが並び大賑わいでした。

午後1時キックオフ、クリアソン新宿VS鈴鹿ポイントゲッターズ(三浦知良選手所属)の試合が始まりました。その瞬間からサッカー大好きな人から初めて競技場で観戦する人までが、選手の一手一投足に「行け!」「あー」「そこだ!」などと、思わず興奮し大

声で応援、前半は0対0で終わりました。



休憩を挿みホイッスルの音と同時に後半戦がスタート。半ば過ぎに鈴鹿がシュート。1点が入ってしまいました。しかし、クリアソン側の応援団は「たった1点だから返せる!大丈夫!」などと心で思い願いながらの応援、そこへ鈴鹿の選手交代のアナウンスとともに三浦知良選手がグラウンドに登場し、会場からは大きな拍手が沸き起こりました。

私たち「新宿大応援団」には、大変残念な結果となってしまいました。試合は1対0のまま終了。

最後に選手の皆さんがグラウンドで整列して、手を振って挨拶してくださいました。心の中で叫んでいました。

当日、JFL日本フットボールリーグで約1万6千人の動員新記録が打ち出された事もご報告します。

当日、JFL日本フットボールリーグで約1万6千人の動員新記録が打ち出された事もご報告します。

落合第一地域センターまつり

ビバ! おちあい

令和5年3月11日(土)

詳細は決定次第各町会の掲示板などにてお知らせします

◆バス見学会（10月30日）
紅葉散策

ちよつとリッチな山梨路

お待たせしました、3年ぶりのバス見学会です。晴天に恵まれ絶好の行楽日和、笑顔の46人を乗せたバスは地域センターを出発しました。

車の流れもよく、2時間程で第一目的地『マンズワイン勝沼ワイナリー』に到着。工場見学・試飲・お買い物といういつものコースと違い、ちよつとお高めの3種のワインを飲み比べながら、ワインのお勉強です。グラスの持ち方に始まり、原料となるぶどうのお話し、日本産ぶどうによる日本のワイン造りの歴史など教えていただきました。30分程の講座が終わる頃にはワインの酔いも加わり、ちよつとしたワイン通になった気分でした。



お楽しみのお昼食は、甲府盆地を見下ろす高台に建つ『フルーツパーク富士屋ホテル』で、松花堂風のとてもおいしいお弁当をいただきました。アクリル板でお隣との会話もままならず静かな食事風景でしたが、亀崎さん（企画部）の「川中島」（詩吟）が場を盛り上げてくれました。



カーブの続く山道をのぼり、紅葉の名所『昇仙峡』へ。遊歩道を40分程散策。落差30mの仙娥滝や石門、花崗岩の風化によってつくられた峡谷美はさすがに圧巻でした。紅葉にはちよつと早かったようですが・・・。



山梨と言えば『信玄餅』、最後は『桔梗屋』でのお買い物でした。

事故渋滞もありセンター到着が2時間ほど遅れましたが、車内でのマスク着用・控え目な会話など、無理なお願いを皆さん心よくきいて下さり、バス見学会は無事終了しました。来年こそ何の制限もない楽しい旅行が実現する事を願ってお別れです!!

【企画部】

◆新春センター寄席

コロナ感染拡大により、3年間中止せざるを得なかったセンター寄席でしたが、今年度は人数制限・観戦予防



をしながら開催する運びとなりました。

☆日時 1月21日（土）
13時受付開始 14時開演

☆出演者 八代目 柳亭小燕枝

☆会場 落合第一地域センター

☆募集人数 80名（先着順）
4階ホール

◆新春コンサート

日本の民謡と銘打って、昔懐かしい曲を選曲してお送り致します。

☆日時 2月11日（土・祝）
13時30分受付開始 14時開演

☆内容 津軽三味線・尺八・安来節（島根県民謡）など

☆会場 落合第一地域センター
4階ホール

☆募集人数 80名（先着順）



◆カルチャー教室（寄せ植え）

12月10日（土）地域センター3階で、香山園芸の香山先生を講師にお招きして、寄せ植え教室が行われました。



地域のお知らせ

◆歳末夜警

恒例の歳末夜警が今年も実施されます。日時につきましては各町会の掲示板などでご確認ください。



中落合一丁目みどり町会	12月24日～28日	20時～
中落合二丁目町会	12月26日～30日	21時～
下落合町会知久会	12月28日～30日	21時～
下落合東町会	12月27日～30日	21時～
下落合四丁目町会	12月23日～28日	20時～
高田馬場住宅コム	12月24日	20時～
中落合三丁目やよい町会	12月23日～27日	20時～
上落合東部町会	12月25日～28日	20時～
消防第10分団	12月29日・30日	
消防第11分団	12月29日・30日	



◆落合の里チャリティーコンサート

10月30日(日)上落合東部町会主催『落合の里チャリティーコンサート』が落合第二小学校体育館で開催されました。

第一部、親子デュオで高円寺を中心に活動中のチェットラボさん「虹」「マリーゴールド」「スイートメモリーズ」「お嫁においで」に続き「ベンチャーズメドレー」で会場を盛り上げました。アンコールは「浪漫飛行」と父親の素晴らしいギターと息子さんの息の合った演奏で、会場を歓声の渦に沸かせました。



幕間でチャリティーについての説明と来賓のご挨拶がありました。

第二部では、上落合の歌姫こと、う

らくみこさん登場。毎年『盆踊り大会』で歌と踊りを披露されていて地元ファンが多く、登場と同時に歓声が沸いて「真赤な太陽」から『くみこ歌謡ショー』の開幕となりました。「東京ひとり」「浪花節だよ人生は」「ここに幸あり」「おまえに」「人生の空から」「恋の季節」「天使の誘惑」と続き会場のみんなど「エビカニクス」を一緒に踊り、オリジナル曲「ドッパン&ザブーン」で会場の盛り上がりは最高潮に達し、アンコールでは「上を向いて歩こう」を熱唱。会場全てが感動の渦に包まれました。

感染防止対策もよく考えられ、3年ぶりのチャリティーコンサートを楽しみにしていた方も多く、「楽しかった、ありがとう」の声が終了後数多く聞こえた素晴らしいイベントでした。

歳時記 ゆく河の流れは〜

「ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず。」これは随筆『方丈記』の冒頭の文章である。著者の鴨長明(一一五五〜一二一六年)が生きた時代は、平安時代の末期から鎌倉時代の中期にあたる。今年の大河ドラマ『鎌倉殿の13人』は舞台が鎌倉のため、京都のことはあまり描かれていない。鴨長明が二十代前半で京都郊外の山里に移り住み、世の中の動きや毎年の

よう起きている天変地異・飢饉・疫病・火災などを、細かく観察して随筆集とした。

《都(京都)で起きた主な災害》
一一七五年 三月 疱瘡(ほうそう)

と天然痘の流行
一一七六年 三月 法勝寺九重塔

に落雷
一一七七年 二月 疱瘡 流行
四月 安元の大火

十二月 彗星 出現
一一七八年 一月 彗星 出現

三月 治承の大火
一一七九年 十一月 地震

一一八〇年 四月 治承の辻風(竜巻発生)

一一八一年 六月 養和の大飢饉
翌年にかけて全国的

一一八二年 前年からの飢饉が続く
餓死者無数

一一八三年 十月 地震
一一八四年 一月 暴風雨

一一八五年 一月 彗星 出現
五月 疫病 大流行

一一九〇年 七月 文治の大地震
八月 暴風雨で賀茂川

と桂川が氾濫 数か月間
続く

一一九三年 一月 疱瘡 流行
一一二〇〇年 三月 水疱瘡(みずぼう

そう) 流行

これらの自然災害だけでなく、源平の権力闘争の敗者や盗賊犯などが五条河原に多数梟(さらし)首となり、まさしくこの世の地獄。鴨長明がこれらの災害や事件を経験したのが二十歳代から三十歳代、人生観や無常観が方丈記を形作ったようである。



方丈の庵跡

冒頭の文章の続きは「よどみに浮かぶ泡沫(うたかた)は、かつ消え、かつ結びて、久しくとゞまりたる例(ためし)なし。世の中にある、人と栖(す)みか」と、又かくのごとし。」

名を「かもの ちょうめい」と音読する事が多いが、正式には「かものながあきら」と訓読する。下鴨神社の神官の子として生まれたが、一族の権力闘争に巻き込まれ父の跡目を継ぐことができず、五十歳で出家し、山里に小さな小屋『方丈の庵(いおり)』を建て、そこで方丈記を編纂(へんさん)。天災や人災ばかりでなく四季折々の景物を詠み歌壇交流を続け、六十二歳の生涯を閉じている。方丈記は八百年以上、色褪せずに読み続けられ、現代にも提唱している。



もういくつ寝ると

お正月♪♪

もういくつ寝ると お正月

お正月には 凧あげて

独楽をまわして あそびましよう

早く来い来い お正月

皆さんよく知られたこの歌ですが

明治三十四(1907)年七月、滝廉太郎

が編集した『幼稚園唱歌』の一曲と

して発表されたものです。「凧あげ」

も「独楽まわし」も、今は見かけない

風景となりました。他にも、「いろ

はかるた」や「福笑い」などありま

すね。60歳以上の方は、家族でお正

月にやった経験があるのではないで

しょうか？



◆いろはかるた

ゲームとしてはごくシンプルで、

一人が読み札を読み、ほかの参加者

数人が、文句の頭文字(ひらがな一

文字)の入った絵札をとっていくも

のです。ひらがなをうる覚えの子も

参加でき、「あたまかくして尻かく

さず」なら、「あ」がわからなくて

も、お尻が見える絵をたよりにとる

ことができます。

◆江戸いろはかるた

犬も歩けば棒にあたる

論より証拠

花よりだんご

...

門前の小僧習わぬ経を読む

背に腹はかえられぬ

粋は身を食う

※文句は基本的なことわざです。

江戸後期(19世紀初期)に生まれ

たもので、いろは47文字をかるたで

覚えた人も少なくないでしょう。ち

なみに、文豪芥川龍之介が「世渡り

の知恵は『いろはかるた』に尽きて

いるのではと、述べたとか。子ども

時分に、よくわからなくても、繰り

返し耳にするうちに文句を覚えて、

やがて、大人になって、あーこれは

こういうことだったのかと納得した

方も多いのではないでしょうか。

◆百人一首

百人一首もお正月の定番です。か

ると違うのは、取り札が和歌の下

の句です。読み札は上の句から読ま

れるので、記憶力のトレーニングに

なります。「ちはやふる」少女漫画

のヒットもあり、中学校では、百人

一首の大会が開かれるなど、積極的

に取り入れられています。



◆福笑い

▽福笑いがお正月の遊びとして定着

したのは、明治時代の頃だと言われ

ています。これも、かるたと同様、

みんなで楽しむ、幼い子どもでもす

ぐに挑戦できる、「笑う門には福が

来る」と縁起の良い遊びです。

▽遊び方は、目をつむるか目隠しを

して、顔のパーツを選び、顔の輪郭

に並べていきます。その時々で「正

確な位置に置いた者の勝ち」「面白

い顔を作った者の勝ち」などで勝敗

を決めますが、勝敗を決めなくても

顔の出来栄えを見比べるだけで、と

ても楽しい遊びです。

▽福笑いの代表的なものは、おかめ

とひよつとですが、おかめは「福

を招く神」、ひよつとは「火を守

る神」とされて用いられてきました。

今は、アニメのキャラクターや様々

な顔が制作されています。



あそんでみてね!

▽「福笑い・手作り」などで検索す

ると、無料のダウンロードサービ

スが出てきますので、それを印刷し

たり、参考に絵を描いたりしてみ

てはいかがでしょうか？

◇お正月遊びは心技体が良い

▽昭和時代の中頃までは、お正月の

伝統的遊びは、みなさんもやってい

たことと思います。核家族化や生活

環境の変化で、「お正月」の歌のよ

うな遊びは影を潜めていましたが、

今、見直されつつあります。

▽前述の「かるた」は、どこに、札

が置いてあるのかを覚えておく(記

憶能力)ことと、素早く札を取る

(反応能力)が試されます。また、

「福笑い」は、パーツを選ぶ指先の

感覚、目を閉じた状態での空間把握

と記憶能力のトレーニングになりま

す。

▽凧あげも羽根つきも独楽まわしも

皆、心も頭も体も十分に使って遊ぶ

ものです。

▽お正月は、ぜひ、日本の伝統文化

であるお正月遊びを興じてすこして

みてはいかがでしょうか？

それでは、皆様、良いお正月をお

すごし下さい！



【参考】※ウエブサイト

・ 日本文化いろは事典

<http://iroha-japan.net/>

・ ことわざなび☆ラボ

<https://kodomo-manabi-labo.net/>

・ おひなまつり

<https://happyilac.net/fukuwarai2.html>